

 <p>三井楽小学校だより</p> <h1>まんよう</h1>	令和 5年 8月28日 第8号 文責：小嶋 和徳 <学校教育目標> 「学びを いかし ひろげる 三小っ子」 ☆心豊かな子 ☆考える子 ☆たくましい子
---	--

新学期スタート！

今年の夏は猛暑が続き、思い切って外で遊ぶことができなかつた子がいるのではないのでしょうか。夏休み期間、校庭で遊ぶ子はほとんど見られず、また、先生方が地域を回ることがありましたが、子供たちの姿を見ることは、なかつたようです。

夏休み中は、家庭が主体となって子供を育む期間ですので、苦勞も多かつたのではないのでしょうか。その分、お子様のことをしっかり見つめ、ふれあい、対話するよい期間になったことだと思います。計画通りに進まなかつたのか、課題が仕上がっていない子もいたようですが、やるべきことを実行する計画性と根氣強さは、社会に出ても求められる力です。課題をやり残している場合は、日々の宿題、あるいは放課後を利用してさせる場合がありますのでご了承ください。

2学期は、様々な活動や行事が予定されており、自分の力を発揮し、伸ばすチャンスがいくつもあります。子供たちの力を少しでも引き出し、伸ばせるように職員一同努めて参りますので、今学期も学校へのご理解とご協力をお願いします。

【2学期の主な予定】

- < 9月 > *授業参観・学級懇談会(7日) *夏休み作品展(1～8日)
- <10月> *小体連(11日) *ジャズ音楽鑑賞会(25日午前)
 *教育県長崎振興大会五島大会(28日午後から)
 ※内村航平氏の講演等あります ※動員があります
- <11月> *三井楽町ロードレース大会(未定) *3,4年市内音楽会出場(10日午前)
 *三小キッズ発表会(22日午後予定)
- <12月> *授業参観・学級懇談会(7日) *人権集会(8日) *全学年学力テスト

★今学期、校外学習や講師を招いての学習が予定されている学年があります。

学級レクリエーション

今年度、夏休み期間を利用してPTA主体の学級レクリエーションが実施されました。昨年度、吉川会長が市P連で発表したように、「子供」を核に置いて体験、経験させる活動を計画していただいていることに感謝いたします。親子で一緒に活動したこと、大人の方々に協力してもらって経験できたことは、子供の心に深く刻まれ、大人になった時に、次は自分たちが子供たちのためにしてあげようとするきっかけにつながると思います。保護者の協力体制と行動力を改めて実感しています。さすが三井楽PTA！

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| ◆3年生…海遊び | ◆4年生…海遊び、バーベキュー |
| ◆5年生…乗船体験、海遊び、バーベキュー、花火、お泊まり会など | |

2学期の学校経営について

1学期末の学校評価アンケートの結果や、学校職員の反省をもとに、2学期の目標を次のように設定しました。

◎ 1学期の評価と2学期の取組

評価値：4段階評価

めざす子供像 【学級経営評価値】 <学校評価全体値>	課題項目 (学校評価項目より)	児童評価		評価から
心豊かな子 【3.0】 <3.1>	思いやる心	○	3.2	○「思いやる心」は児童3.2とだいたいできていると評価しているが、教師は2.6と評価値に差があることから、教師は何が出来ていて、何がたりないのかを児童に理解させる必要がある。
	違い、よさを認める心	○	3.3	
考える子 【2.7】 <2.9>	英語を生活で使う	○	2.9	○英語の学習で学んだ単語やフレーズを積極的に使うように仕組む。昨年からの取組もあり、改善傾向にはある。 ○読書に対する自己評価が改善している。今後も計画的に本にふれさせる機会を設ける。
	読書	△	3.0	
たくましい子 【2.5】 <2.9>	よりよい学校にするために行動	△	3.1	○「身の回りの問題点・課題点を見つけ、改善しようとする」項目で、児童は3.4と高い評価値であった。気付いた問題や課題から、自分たちに何ができるのかさらに考えさせ、できることから行動につなげさせていく。
	物事や目標に根気強く取り組む	△	3.1	

【その他の課題】

- メディアの使い方(生活リズムの乱れ)→宿題をしていない、寝不足で授業に集中できないことに
- 家庭での学習習慣が未定着の児童の固定化→学習の未定着、遅れにつながっている
- トイレのスリッパの散乱

<今後の課題>

- ① 友達によさや違いを認める心
- ② 読書に親しむ
- ③ 根気強さ

<2学期のめざす子どもの姿>

- ① 友達によさに拍手や言葉を送ることができる子
自分との違いを受け入れる子
- ② 時間を見つけて読書をする子
- ③ 目標に向かって努力する子

ホットなニュース



夏の暑い日も、バレー部とソフト部は練習に励んでいました。ソフト部の子供たちは、先生たちが退勤する姿を見ると、遠くに離れていても大きな声で「さようなら！」と挨拶をしてくれるので、先生方も「がんばれ～！」など声を返す光景をよく見かけます。(集中して練習している場面では、練習を切らないように声を掛けるのを控えることもありますが、邪魔してはいけないという思いからです。)

ある日、ソフト部の杉本壮介キャプテンが、退勤する私に「校長先生、8月6日は広島に原爆が落ちた日ですよね。僕は、その時しっかりお祈りをしました。」と話しかけてきました。原爆で犠牲になられた方々を思う気持ちがしっかりと育っていることが嬉しくなりました。「校長先生は？」と尋ねられたので、「球技大会に向かう車の中だったので、手は合わせられなかったけど、心で祈ったよ。」と答えると、「車で手を合わせると危ないもんね。」と言葉を返してくれました。その後もしばらく会話をしました。密な仕事を終えた後でやや疲れていましたが、言葉のキャッチボールをすることで、相手の気持ちを知ることができ、すがすがしい気持ちで帰宅することができました。SSさん、ありがとう。

